ボーリング柱状図

調査名	第二種漁港 倉橋漁港 港整備交付金事業に伴う業務委託（室尾地区）
事業・工事名	

ボーリングNo.	5	1	3	2	1	4	1	3	0	0	4

シートNo.

ボーリング名	No.4	調査位置	広島県呉市倉橋町室尾	北緯	34° 05’ 42.3000″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所	調査期間	平成30年 1月31日～平成30年 1月31日	東経	132° 32’ 35.7000″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	CDL -21.89m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種		試錐機	東邦地下工機D1-B48
ハンマー落下用具	半自動落下式	総掘進長	6.00m	エンジン	ヤンマーNFD13
ポンプ	東邦地下工機BG-3C				

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日
1					礫混り砂	暗灰	非常に緩い		GL-0.00～0.50m間は、粘土分を含む。 φ2～5mmの亜角礫主体の非常に緩い砂層。 粘土分少量含む。 全体的に貝殻片混入。		
2	-24.49	2.60	2.60								
3	-25.19	0.70	3.30		砂礫	淡褐灰			φ2～5mmの角礫混在も、指圧で崩れる。 砂は、粗砂主体。 全体的に風化が見られる。 土砂状に風化した基盤岩。 指圧で砂質土状に砕ける。 まさ土状。 岩級区分「D級」		
4					風化花崗岩	茶褐灰					
5											
6	-27.89	2.70	6.00								
7											
8											
9											
10											
11											

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値
1.00	ハンマー自沈			0/45	0
1.45					
2.00	ハンマー自沈			0/45	0
2.45					
3.15	7	9	17	33/30	33
3.45					
4.10	27	23		50/14	50以上
4.24		4			
5.00	50			50/8	50以上
5.08	8				
6.00	50			50/9	50以上
6.09	9				

原位置試験

深度 m	試験名及び結果

試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
1.00	P-1	⊖	物理	
1.45				
2.00	P-2	⊖	物理	
2.45				
3.15	P-3-1	⊖	物理	
3.30	P-3-2	⊖	物理	
3.45				
4.10	P-4	⊖		
4.24				
5.00	P-5	⊖		
5.08				
6.00	P-6	⊖		1/31
6.09				